



## ④ 社会との協調

社外ステークホルダーのご意見  
 野焼きは、危険を伴い地域の経験者も高齢化しているため、後継者育成はとてよい活動  
 P.35~36  
 くじゅう坊ガツル湿原での環境保全活動

# 1. くじゅう坊ガツル湿原<sup>ぼう</sup> 一帯における環境保全活動

## くじゅう坊ガツル湿原での環境保全活動

くじゅう坊ガツル湿原は、大分県西部に位置し、周囲を九重連山に囲まれた高原性湿原(約53ha)です。多様な地質・地形を反映した希少な生態系を有することから、2005年に国際的に重要な湿地の保全を目的とする「ラムサール条約」に登録されています。

当社は、坊ガツル湿原の保全及びその一帯に生息する希少植物の保護のため、環境省や竹田市、「九重の自然を守る会」など、地域の方々との協働により、長年途絶えていた野焼き活動を2000年に再開しました。現在は、九電みらい財団(2016年5月設立)が中心となり、野焼き活動のほか、外来種駆除活動や隣接する平治岳(当社所有地)のミヤマキリシマ植生保護活動などの環境保全活動を行っています。

九電みらい財団のホームページはこちら

### 【野焼き活動】

かん木や雑草が生い茂ることを防ぎ、植物の新しい芽立ちを促すことで、湿原の環境を維持する野焼き活動を実施しています。

野焼き時の周囲への延焼を防ぐ防火帯を準備する「輪地切り」と「輪地焼き」を毎年8月から9月にかけて実施し、翌年3月に湿原全体に火をつける「本焼き(野焼き)」を行います。

2016年度は、地域の方々や当社グループ社員と家族などのべ414名のボランティアの方々に参加いただきました。



輪地切りの様子



本焼き(野焼き)の様子

### 【活動の充実に向けた取り組み】

九電みらい財団では、野焼き活動の指導者が、今後不足するおそれがあるため、2016年度から九州電力グループ社員を対象に野焼き活動の担い手となるリーダーの養成研修を行っています。この研修は、草刈機の扱い方などの実技指導と活動の経緯や安全講習などの座学で構成されており、初年度は約30名の九州電力グループ社員が受講しました。



実技指導



安全講習等の様子



### 私の環境アクション

ふるさとの山々のために、  
今できることを

配電本部 配電教育グループ

さとう たけとし  
佐藤 剛敏



熊本地震後、ボランティアとして入った阿蘇の山々に残る爪痕を目の当たりにし、深く心を痛めました。この故郷九州の山々のために今できることはという思いから、2017年2月、「坊ガツル野焼きリーダー養成研修」を受講し、同年3月には実際の野焼き活動に参加しました。

その中で、「人が手を加えることによって守られている自然がある」ということに気付かされ、長年この活動に取り組まれてきた方々の思い、そして実践する姿に触れることができました。自然の大きな営みの中で、謙虚に、そして地道にこの活動の一員としてこれからも取り組んでいきたいと思ひます。

また、私は現在、社員研修所で新入社員教育等に携わっていますが、この思いを若手社員にもしっかりと伝えていきたいと思ひます。

### 用語集をご覧ください

- ラムサール条約
- 生態系

### 【 外来種(植物)駆除活動 】……………

湿原の生態系を維持するため、外来植物を手作業で根ごと抜き取る作業を行っています。

2016年度は、8月7日に実施し、当社社員や家族を含む88名のボランティアの方々に参加いただきました。

また、作業終了後には、参加者を対象とした自然観察会を開催しました。



外来種駆除活動



自然観察会

### 【 ミヤマキリシマの保護、登山道整備活動 】……………

ミヤマキリシマ(大分県準絶滅危惧種)の植生に支障となる木(ノリウツギ等)を伐採し、生物多様性を保全するための活動を実施しています。

また、山の草花が踏み荒らされたりしないよう登山道の整備も行っています。

2016年度は、11月3日に実施し、当社社員やOBを含む73名のボランティアの方々に参加いただきました。



支障木の伐採



登山道の整備

## 2. 次世代へのエネルギー・環境教育の展開

「九電みらいの学校」\*の一環として、エネルギー・環境への関心を育む活動を、九州各地で展開しています。

\*:エネルギー・環境教育をはじめ、文化・芸術・スポーツの分野において、様々な活動を行う次世代支援プロジェクト。



詳細は [九州電力](#)  
 > 関連・詳細情報 (P2参照) > 九電みらいの学校

### エコ・マザーによる環境教育支援

子どもたちへの環境教育支援と保護者の皆さまへの環境情報の提供を目的とする「エコ・マザー活動」に取り組んでいます。

この活動では、九州各地で地域のお母さま方が「エコ・マザー」として保育園などを訪問し、環境紙芝居の読み聞かせ等を行い、小さなお子さまに環境への配慮の大切さを伝えています。

2016年度は253回、20,084名のお子さまや保護者の皆さまにご参加いただきました。

なお、これまでの14年間で、約3,400回実施し、約24万名の皆さまにご参加いただいています。



エコ・マザー活動の様子



詳細は [九州電力](#)  
 > 関連・詳細情報 (P2参照) > エコ・マザー活動

### 用語集をご覧ください

- 絶滅危惧種
- エネルギー・環境教育